

2024 年 6 月

学生認識／行動調査2023

結果報告

学生支援センター

目次

調査の概要.....	2
回答率.....	2
1. 入学動機.....	3
2. 自己肯定感.....	6
3. 他学生および教職員との関係.....	9
4. 施設等満足度.....	12
5. 施設等への要望 [自由記述].....	17
6. 学修状況.....	21
7. 授業満足度.....	27
8. DP 達成度.....	33
9. 生活・心身の悩み・経済状況など.....	41
10. 本学への意見等 [自由記述].....	60

調査の概要

調査期間：2024年2月15日（木）～3月31日（日）

対象者：学部の1～4年生（休学者を除く）

調査方法：Google Forms を利用した（st アカウントからの回答に限定）。

学籍番号取得式による任意回答とした。

設問数：40問（選択式37問・自由記述3問）

回答率

<学科別回答者数・回答率>

学科	日本文学科	中国文学科	英米文学科	教育学科	書道学科	歴史文化学科	社会経済学科	現代経済学科	中国語学科	英語学科	日本語学科
対象者数	643	187	434	503	244	374	865	649	257	828	204
回答者数	61	9	28	34	26	52	41	38	13	57	19
回答率	9.5%	4.8%	6.5%	6.8%	10.7%	13.9%	4.7%	5.9%	5.1%	6.9%	9.3%

学科	法律学科	政治学科	国際関係学科	国際文化学科	経営学科	スポーツ科学科	健康科学科	看護学科	社会学科	全体
対象者数	918	599	425	336	1483	557	313	404	778	11001
回答者数	70	40	33	21	91	29	25	30	90	807
回答者率	7.6%	6.7%	7.8%	6.3%	6.1%	5.2%	8.0%	7.4%	11.6%	7.3%

※2023年度、環境創造学科の調査対象者数は0名。

<学年別回答者数・回答率>

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	全体
対象者数	2892	2665	2740	2704	11001
回答者数	346	194	142	125	807
回答率	12.0%	7.3%	5.2%	4.6%	7.3%

1. 入学動機

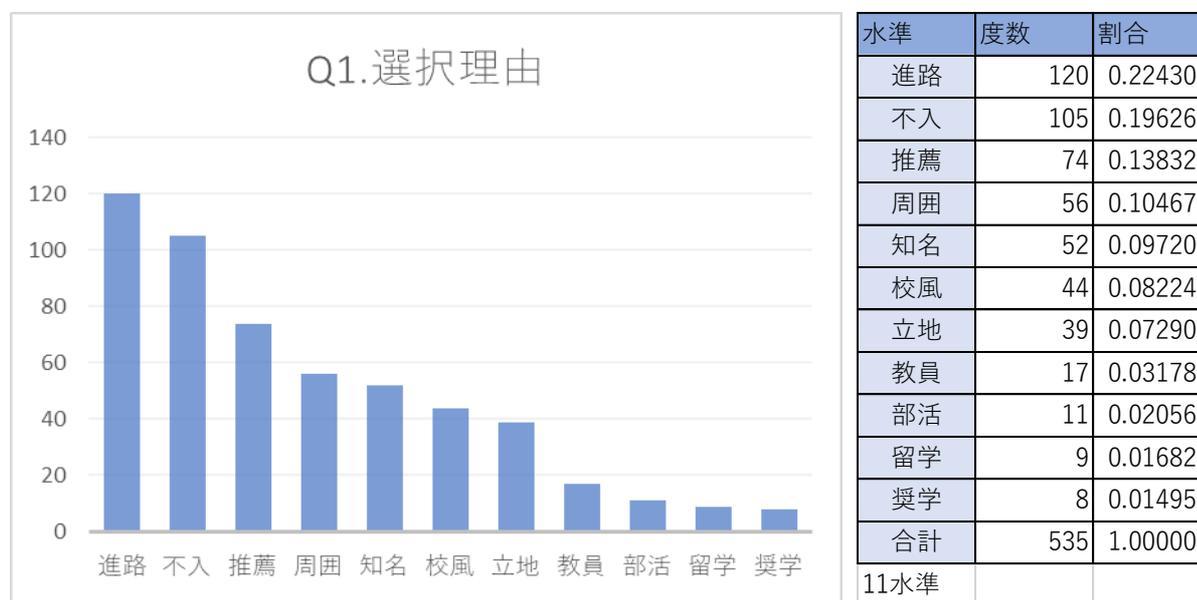
このセクションでは、Q1（入学動機）に関する部分について結果を報告する。

【入学動機】

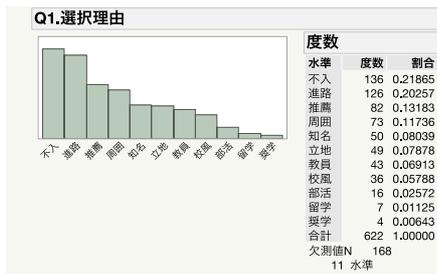
Q1 1年生(2023年度入学生)のみ回答してください。本学に入学した理由は何ですか。(主なものを2つまで)

- ①校風 [校風]
- ②指導を受けたい教員がいた [教員]
- ③将来の希望進路に必要な勉強ができる [進路]
- ④知名度・注目度の高さ [知名]
- ⑤立地条件 [立地]
- ⑥親や先生など周囲のすすめ [周囲]
- ⑦推薦入試制度があった [推薦]
- ⑧希望の部活動等に入るため [部活]
- ⑨奨学金制度が充実している [奨学]
- ⑩留学制度が充実している [留学]
- ⑪希望した大学に入れなかった [不入]

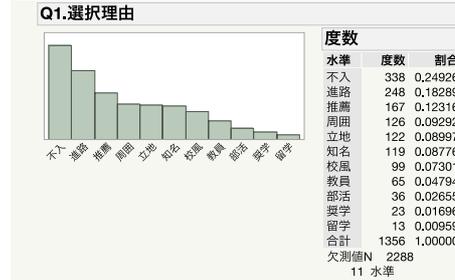
<全学>



参考：2022 年度



参考：2021 年度



これはひとり2つまで選択した合計の頻度である。回答した1年生は346名であったので、その回答者の中でどのくらいの割合が各理由をあげたかは以下の通りとなる。34.7%が本学を選択した理由として、「進路」すなわち「将来の希望進路に必要な勉強ができる」をあげた。ついで多かったのは「不入」すなわち「希望した大学に入れなかった」、30.3%である。1年生の2人に1人が「不入」を選んでいた2021年度から2年連続で割合が減少し、「不入」と「進路」の順位が入れ替わった。

進路	不入	推薦	周囲	知名	校風	立地	教員	部活	留学	奨学
120	105	74	56	52	44	39	17	11	9	8
34.7%	30.3%	21.4%	16.2%	15.0%	12.7%	11.3%	4.9%	3.2%	2.6%	2.3%

参考: 2022 年度

不入	進路	推薦	周囲	知名	立地	教員	校風	部活	留学	奨学
136	126	82	73	50	49	43	36	16	7	4
35.7%	33.1%	21.5%	19.2%	13.1%	12.9%	11.3%	9.4%	4.2%	1.8%	1.0%

参考: 2021 年度

不入	進路	推薦	周囲	立地	知名	校風	教員	部活	奨学	留学
338	248	167	126	122	119	99	65	36	23	13
50.1%	36.7%	24.7%	18.7%	18.1%	17.6%	14.7%	9.6%	5.3%	3.4%	1.9%

では2つ選択した時、どの2つの組み合わせが多かったのだろうか。2つの理由の組み合わせの頻度の一覧は以下の通りである（この設問に回答した1年生346名中、2つの理由を回答したのは201名）。

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	17	20	17	0	2	9	1	3	3	0	72
教員	0	2	1	2	3	0	0	1	1	0	10
校風	4	4	6	15	0	8	0	0	1	3	41
周囲	8	6	0	0	0	0	1	1	0	0	16
知名	11	12	3	0	3	0	1	1	0	0	31
立地	10	9	4	0	0	0	1	0	1	0	25
推薦	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
部活	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	53	53	31	17	8	17	6	7	6	3	201

参考：2022年度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	25	20	12	0	9	5	4	0	2	0	77
教員	2	5	4	17	4	1	1	1	0	0	35
校風	3	5	2	9	2	7	0	2	0	3	33
周囲	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0	32
知名	11	8	6	0	2	0	2	0	0	0	29
立地	12	5	5	0	0	1	1	1	1	0	25
推薦	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	6
部活	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
留学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	71	64	29	26	17	13	9	5	4	3	241

参考：2021年度

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度	不入	推薦	周囲	立地	進路	知名	部活	奨学	教員	留学	合計
進路	47	34	22	15	0	19	9	5	0	0	151
校風	8	10	5	18	27	8	1	0	8	1	86
知名	38	13	11	10	0	0	2	1	0	0	75
立地	34	9	11	0	0	0	0	2	0	1	57
周囲	22	20	0	0	0	0	3	1	0	1	47
教員	4	8	5	3	18	3	2	1	0	0	44
推薦	6	0	0	0	0	0	8	1	0	2	17
奨学	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9
部活	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
留学	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	173	94	54	46	45	30	25	12	8	7	494

最も多いのが「推薦」と「進路」の20名で、次が「不入」と「進路」、「周囲」と「進路」の17名である。

2. 自己肯定感

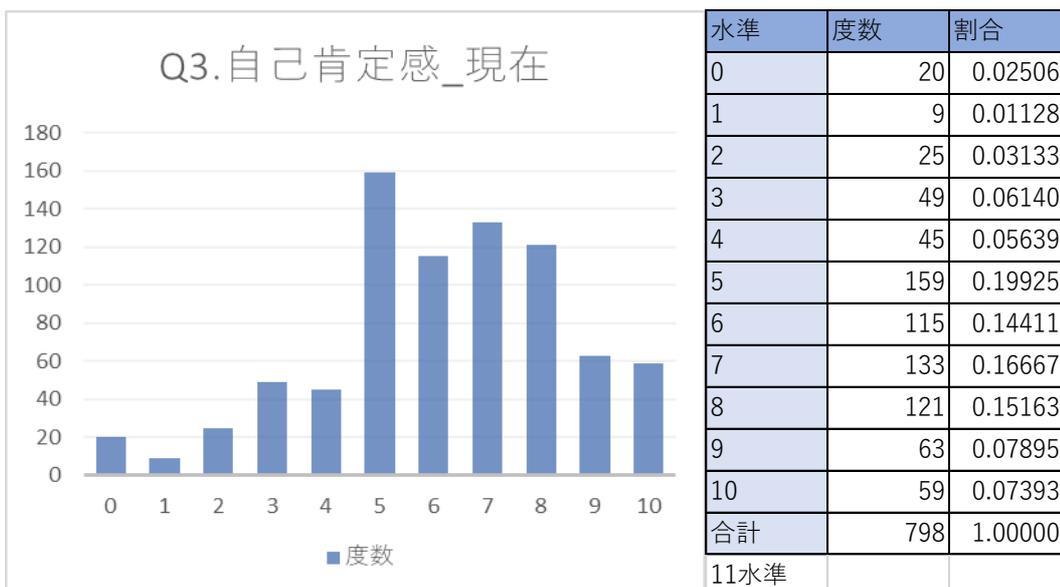
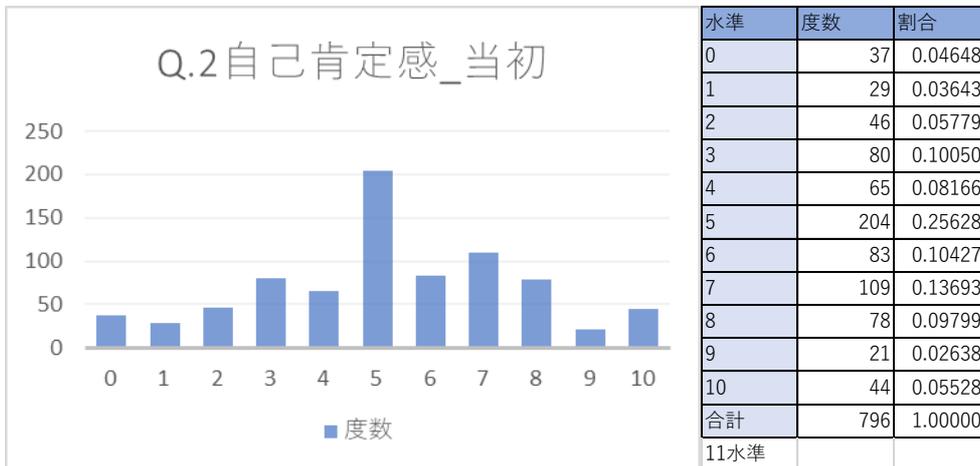
このセクションでは、Q2（入学時の自己肯定感）と、Q3（現在の自己肯定感）に関する部分について結果を報告する。

【自己肯定感】

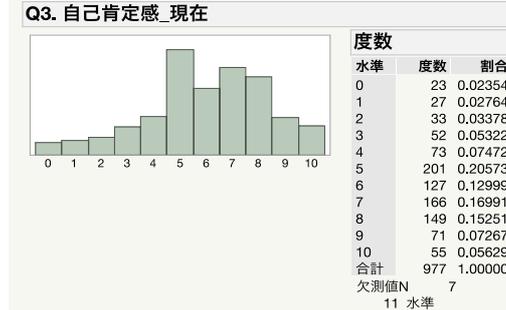
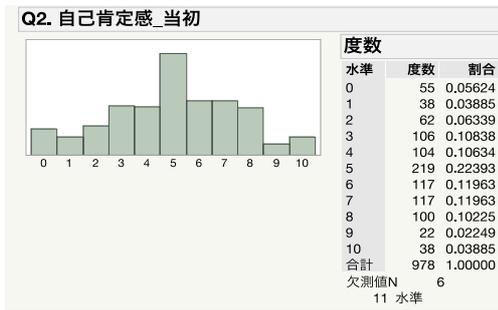
Q2「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、入学時にはどの程度でしたか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

Q3「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、現在どの程度ですか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

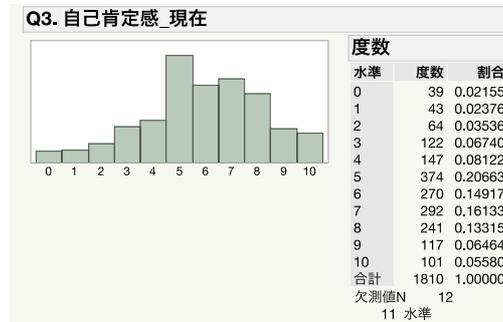
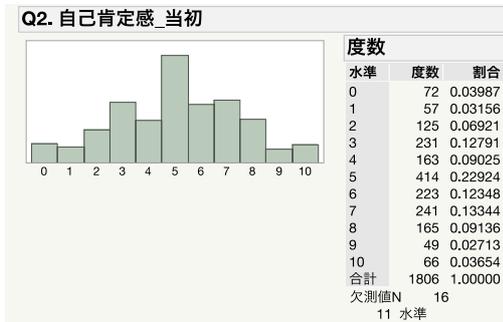
<全学>



参考：2022 年度



参考：2021 年度



全学の分布をヒストグラムで見ると、最頻値は入学時も現在も 5（50%程度の自己肯定感）であり、最低値の 0 から最高値の 10 まで広範に分布していることがわかる。平均値は、入学時が 5.21、現在が 6.17 であり、0.96 の上昇が見られた（2021 年度は 0.80、2022 年度は 0.99 の上昇）。つまり全学的には入学時よりも現在のほうが自己肯定感は上昇しているといえる。

<学年別>

Q3 の回答数値すなわち現在の自己肯定感を学年別に集計してみた。平均値は 2 年<1 年<3 年<4 年と高かった。統計的に有意な差は、1 年と 4 年の間にのみ見られた。

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
1	346	6.14	2.37	0.13
2	190	5.93	2.05	0.15
3	140	6.17	2.33	0.20
4	122	6.65	2.38	0.22

参考：2022 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	392	5.85	2.36	0.12	5.62	6.09
2	246	5.90	2.14	0.14	5.63	6.17
3	178	6.12	2.11	0.16	5.81	6.43
4	160	6.31	2.69	0.21	5.89	6.73

参考：2021 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	672	5.74	2.26	0.09	5.57	5.91
2	518	5.43	2.29	0.10	5.23	5.62
3	393	6.11	2.20	0.11	5.89	6.33
4	227	6.96	2.10	0.14	6.69	7.24

3. 他学生および教職員との関係

このセクションでは、Q4（助け合える仲間）と、Q5（信頼できる教職員）に関する部分について結果を報告する。

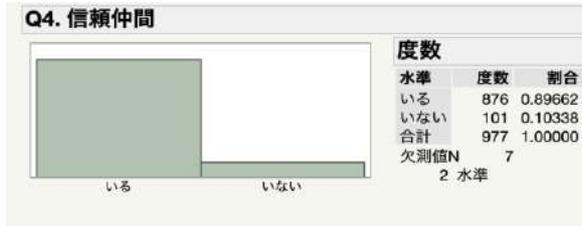
Q4 本学の学生の中で、交流し、助け合えるような仲間はひとりでもいますか。 ①いる ②いない

<全学>

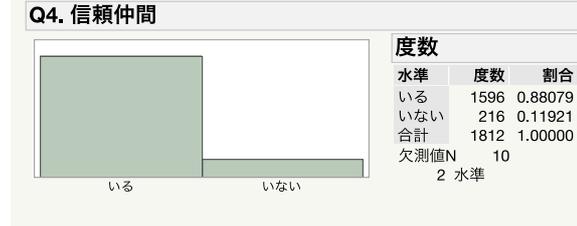


水準	度数	割合
いる	718	0.90542
いない	75	0.09458
合計	793	1.00000
2水準		

参考：2022 年度



参考：2021 年度



<学年別>

学年	いる	いない
1	94.15%	5.85%
2	90.96%	9.04%
3	86.52%	13.48%
4	84.43%	15.57%

参考：2022 年度

学年	いる	いない
1	90.28%	9.72%
2	92.71%	7.29%
3	87.08%	12.92%
4	86.88%	13.13%

参考：2021 年度

学年	いる	いない
1	87.8%	12.2%
2	82.6%	17.4%
3	92.2%	7.9%
4	94.3%	5.7%

全学では約 90%が「いる」と回答した。学年別には、昨年度に引き続き 3 年生、4 年生の数値がやや低い。

Q5 本学の教職員の中で、信頼できるまたは比較的気楽に話せる教職員はひとりでもいますか。

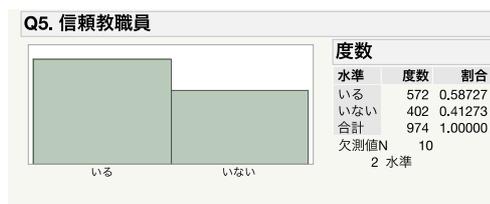
- ① いる ② いない

<全学>

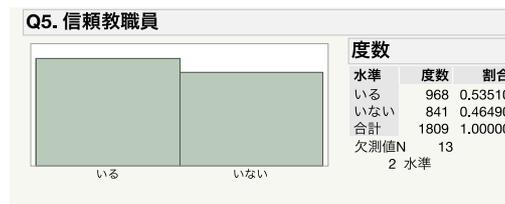


水準	度数	割合
いる	512	0.64403
いない	283	0.35597
合計	795	1.00000
2水準		

参考：2022 年度



参考：2021 年度



<学年別>

学年	いる	いない
1	59.3%	40.7%
2	56.4%	43.6%
3	76.8%	23.2%
4	76.9%	23.1%

参考：2022 年度

学年	いる	いない
1	50.0	50.0
2	53.0	47.0
3	74.7	25.3
4	71.3	28.8

参考：2021 年度

学年	いる	いない
1	44.79	55.21
2	42.83	57.17
3	66.92	33.08
4	80.26	19.74

教職員に関しては全体で約 64%が「いる」と答えた。2021 度の約 54%から 2 年連続で上昇しているのは好ましいことである。やはり対面授業が再開された効果かも知れない。学年別には、昨年度までと同

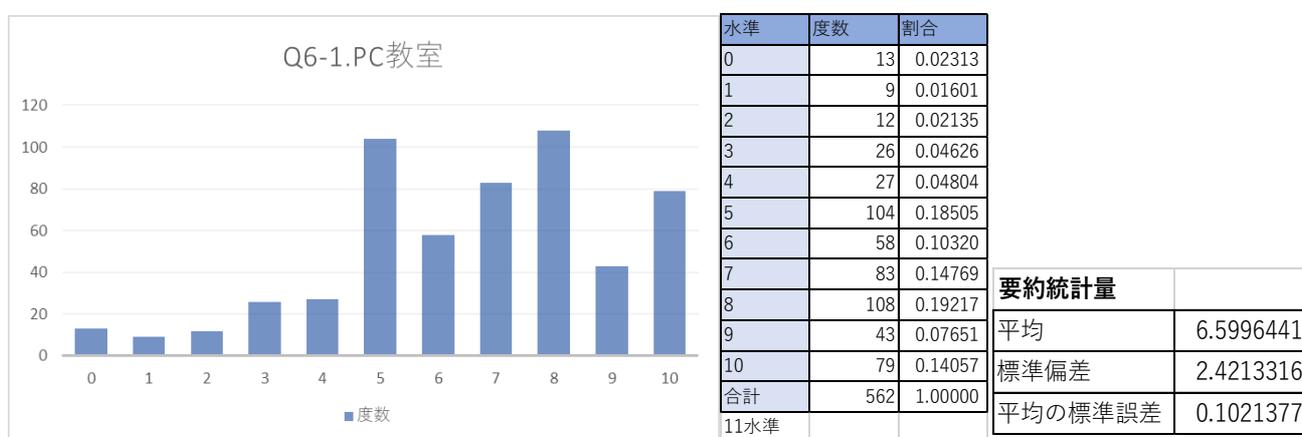
様 1 ～ 2 年生と 3 ～ 4 年生の間に顕著な差がある。

4. 施設等満足度

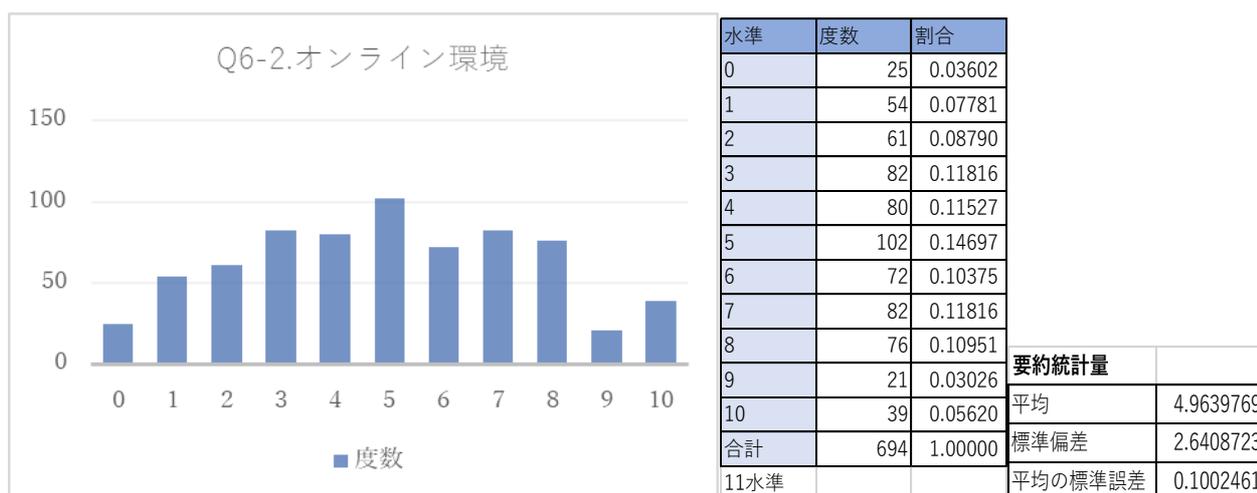
このセクションでは、Q6（施設等満足度）と Q7（施設等の改善希望）に関する部分について結果を報告する。

Q6 次のそれぞれの事項に対する満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の 11 段階で選んでください。利用したことがない場合は、何も選択しないでください。

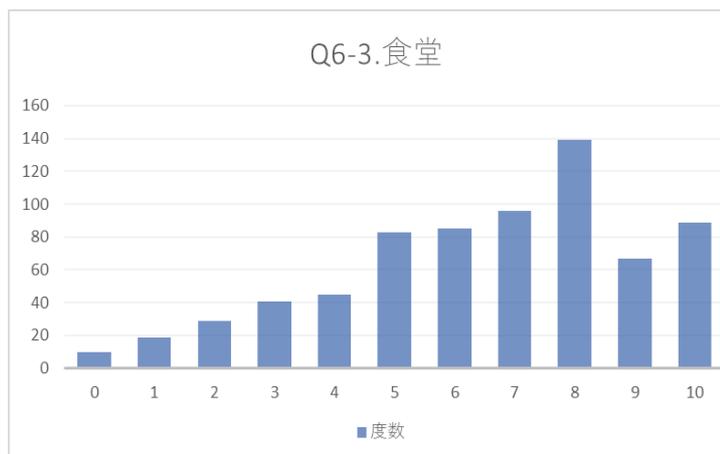
6.1 PC 教室



6.2 Wi-Fi などオンライン授業環境



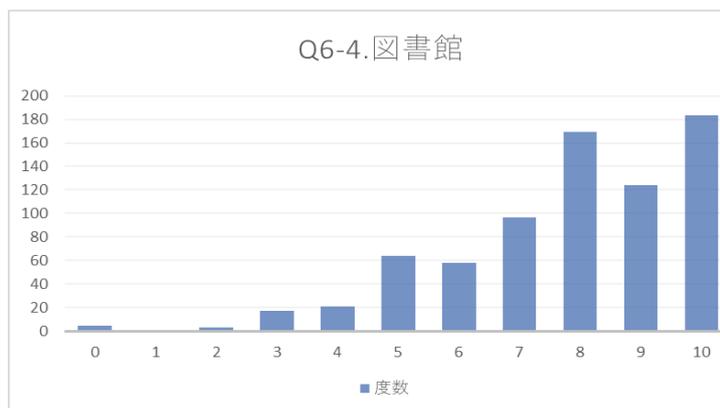
6.3 食堂



水準	度数	割合
0	10	0.01422
1	19	0.02703
2	29	0.04125
3	41	0.05832
4	45	0.06401
5	83	0.11807
6	85	0.12091
7	96	0.13656
8	139	0.19772
9	67	0.09531
10	89	0.12660
合計	703	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	6.5177809
標準偏差	2.5078902
平均の標準誤差	0.0945869

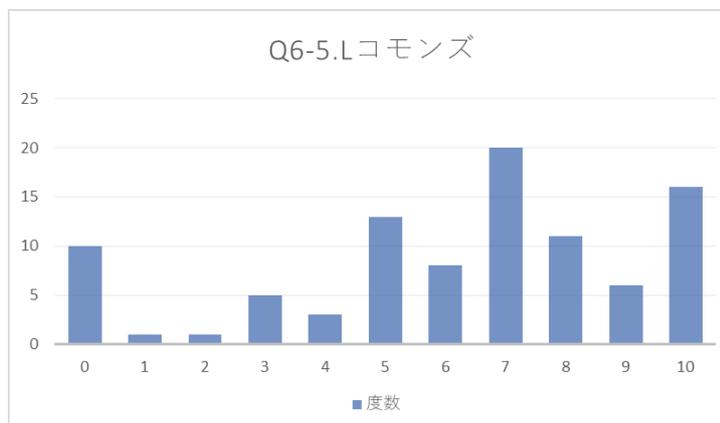
6.4 図書館



水準	度数	割合
0	5	0.00674
1	1	0.00135
2	3	0.00404
3	17	0.02291
4	21	0.02830
5	64	0.08625
6	58	0.07817
7	97	0.13073
8	169	0.22776
9	124	0.16712
10	183	0.24663
合計	742	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	7.7991914
標準偏差	2.0003637
平均の標準誤差	0.0734357

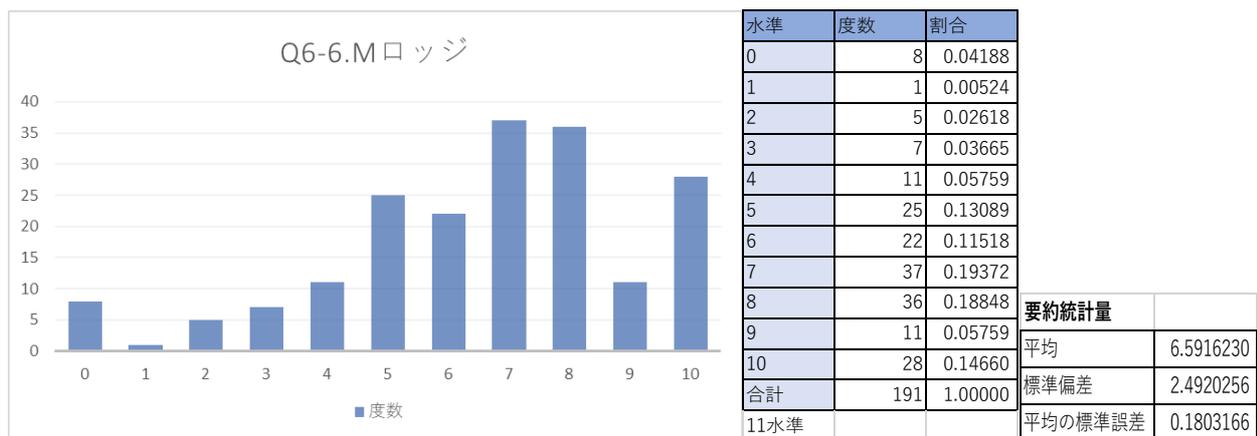
6.5 ラーニング・commons



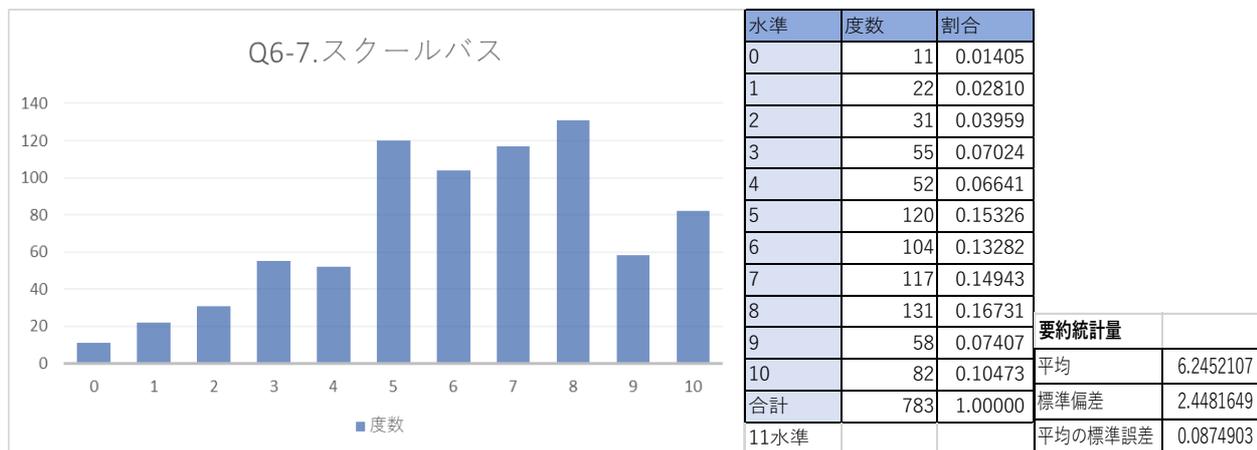
水準	度数	割合
0	10	0.10638
1	1	0.01064
2	1	0.01064
3	5	0.05319
4	3	0.03191
5	13	0.13830
6	8	0.08511
7	20	0.21277
8	11	0.11702
9	6	0.06383
10	16	0.17021
合計	94	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	6.2234043
標準偏差	2.9898917
平均の標準誤差	0.3083838

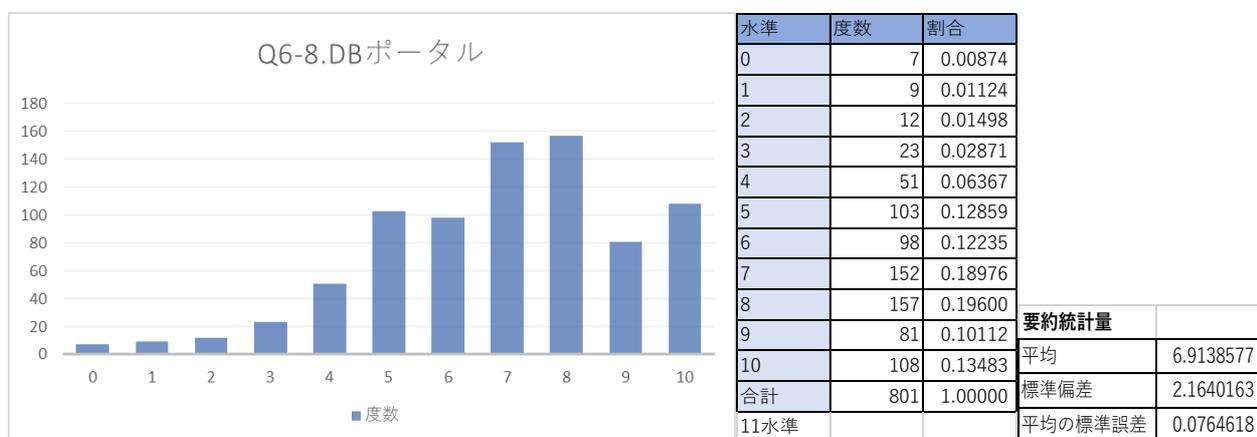
6.6 M ロッジ



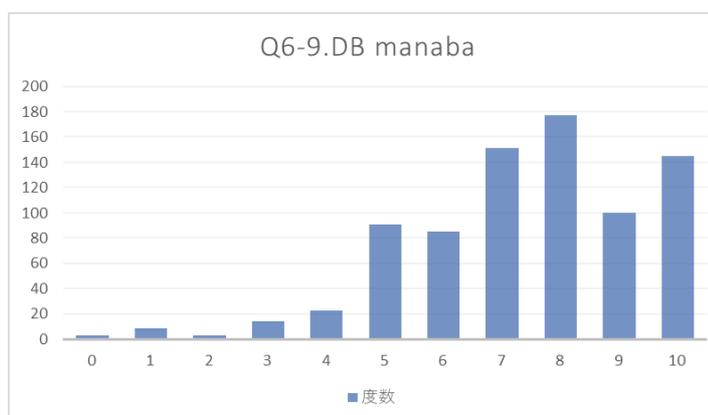
6.7 スクールバス



6.8 DB ポータル

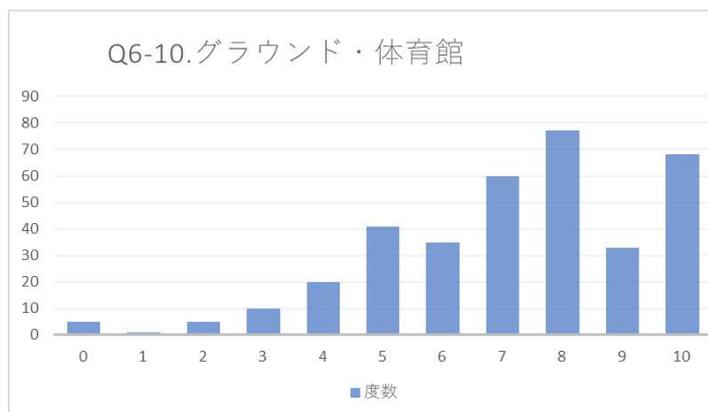


6.9 DB manaba



水準	度数	割合	要約統計量	
0	3	0.00375		
1	9	0.01124		
2	3	0.00375		
3	14	0.01748		
4	23	0.02871		
5	91	0.11361		
6	85	0.10612		
7	151	0.18851		
8	177	0.22097		
9	100	0.12484	平均	7.4119850
10	145	0.18102	標準偏差	1.9900015
合計	801	1.00000	平均の標準誤差	0.0703132
11水準				

6.10 多目的グラウンド・体育館



水準	度数	割合	要約統計量	
0	5	0.01408		
1	1	0.00282		
2	5	0.01408		
3	10	0.02817		
4	20	0.05634		
5	41	0.11549		
6	35	0.09859		
7	60	0.16901		
8	77	0.21690		
9	33	0.09296	平均	7.1802817
10	68	0.19155	標準偏差	2.2230939
合計	355	1.00000	平均の標準誤差	0.1179896
11水準				

<平均と標準偏差の一覧>

	人数	平均	標準偏差
PC教室	562	6.60	2.42
オンライン環境	694	4.96	2.64
食堂	703	6.52	2.51
図書館	742	7.80	2.00
ラーニング・コモンズ	94	6.22	2.99
Mロッジ	191	6.59	2.49
スクールバス	783	6.25	2.45
DBポータル	801	6.91	2.16
DB manaba	801	7.41	1.99
グラウンド・体育館	355	7.18	2.22

参考：2022 年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	688	6.18	2.46
オンライン環境	880	4.69	2.61
食堂	869	6.46	2.44
図書館	898	7.74	1.90
ラーニング・commons	71	5.31	3.40
Mロッジ	199	6.20	2.60
スクールバス	966	5.86	2.56
DBポータル	974	6.79	2.22
DB manaba	974	7.33	2.00
グラウンド・体育館	433	7.00	2.25

参考：2021 年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	1084	6.26	2.42
オンライン環境	1646	6.00	2.52
食堂	1545	6.92	2.28
図書館	1496	7.86	1.94
ラーニング・commons	174	6.17	2.86
Mロッジ	348	6.73	2.47
スクールバス	1775	6.73	2.43
DBポータル	1803	7.02	2.14
DB manaba	1804	7.56	1.93
グラウンド・体育館	743	7.34	2.05

回答人数が昨年度より少なく、回答者も同一でないので一概に比較はできないが、平均値の数値としては 2022 年度よりもすべての施設に関して満足度が高くなっている。

5. 施設等への要望 [自由記述]

このセクションでは、Q7（施設等への要望）に対する自由記述の結果を報告する。

Q7. Q6 の内容で、特に改善して欲しいことがあれば具体的に書いてください。

この設問には 233 件の実質的なコメントがあった。その内容と件数は以下の通りである。（ひとつのコメント内で複数の内容について触れている場合はそれぞれカウントしている。）

Wi-Fi 等ネット環境について	94 件
スクールバスについて	83 件
食堂等について	55 件
図書館について	19 件
学内システムについて	15 件
体育施設等について	14 件
PC（教室）について	7 件
M ロッジについて	7 件
その他	30 件

<Wi-Fi 等ネット環境について(94 件)>

昨年度までと同様、Wi-Fi 等ネット環境についての意見は、異口同音に、繋がりにくいエリアがあるので強化して欲しい、というものであった。特に、学内システムを使用して出席登録をする際や、映像教材を視聴する際に困るとの声が多く寄せられた。本学では、昨年度の本調査の回答を受け、2023 年 9 月以降、Wi-Fi 設備の増強に取り組んでいるが、ネット環境の整備については引き続き学生の強い要望があることがわかる。

<スクールバスについて(83 件)>

スクールバスについては 83 件のコメントがあった。圧倒的に多い意見は、(1) 本数が少ない・混雑している、(2) 運転手・スタッフの対応が悪い、であった。また、(3) バス内や待合室が寒い・暑い、(4) 停留所に停車するバスと停車しないバスを分けて運行してほしい、(5) 緑山キャンパス行きのバスを運行してほしい、(6) 利用者のマナーが悪い、(7) 車内の音楽がうるさい、等の意見も見受けられた。

<食堂等について(55 件)>

食堂等については、(1) メニューに不満がある、(2) 値段が高い、(3) 混雑している・待ち時間が長い、という声が多かった。

<図書館について(19件)>

施設・設備に関するコメントが圧倒的に多く、具体的には(1) Wi-Fi 等ネット環境が悪い、(2) 印刷機や印刷用の PC を整備してほしい、(3) 自習スペースを整備してほしい、という内容が主だった。

また、利用時間・日数を増やしてほしいとの声もあった。

<学内システムについて(15件)>

主に見られたのは DB ポータルに関するコメントと、DB manaba に関するコメントだった。

DB ポータルについては、(1) 毎回のログインが面倒、(2) PC 版での表示に統一してほしい、などの声が多い。

DB manaba については、(1) 毎回のログインが面倒、(2) 「お知らせ」・「その他の曜日」等の項目が見つらい、との声があった。

また、授業で使用するシステムを DB ポータルか DB manaba かどちらかに統一してほしい、という意見が複数あった。

これらについては具体的な声を学園総合情報センターに伝えることとしたい。

<体育施設等について(14件)>

体育施設等について、以下に全件を掲載する。

1. 総合グラウンドのネットの高さを低く、ボールを取りに行くことに時間がかかるため、ネットの高さを上げて欲しいです。
2. 部活動に入ってなく体育なども履修してない学生が施設費は払っているのに利用出来るのか分からないや部活動で使っており利用しづらい事が多いのでそこを改善して欲しい
3. 総合グラウンドに屋根がある場所をもう少し増やして欲しい
4. 体育館が綺麗になるとうれしい
5. 体育館内の構図をもっと分かりやすくして欲しい。
6. グラウンドの日陰が少ない
7. トレーニングルームの利用時間をもう少し増やして欲しい。誰でも利用できる時間以外に指定強化部とそうでない部活との利用できる時間が違いすぎると思うので、部活単位での利用を取りやめて欲しい。また4時以降に男子バスケ部の溜まり場ようになって大声で会話をしたり、スマホをずっといじったりなどしていて非常に不愉快。
8. 部活動で体育館を使用する際、申請と使用時の条件に顧問かコーチ同伴というのが難しい場合があります。難しいとは承知していますが体育館の借用と使用に関して条件が緩和されることを希望いたします。
9. 体育施設使用申請時も、我々が申請したあとに申請してきたスポーツ部の申請が優遇されるのは、文化部の我々としては憤りを感じています。客観的な立場からの行動であったのか、公平性を欠かないための改善策を提議の後、実施していただきたく存じます。
10. 板橋キャンパスでも体育館やグラウンドを解放して欲しい トレーニングマシンやプールを使いたい
11. 総合グラウンドの女子トイレが流れにくいので修繕して欲しい

12. 体育館は、履修する授業じゃなければ、ある場所、教室はいれてはいけないとかこともあって、本校の学生なのに、自分の学校でプールとか、〇〇教室があるのも知らないことがある、そしてジムがあるが、スクール以外の学生は使えないなど改善したほうがいいと思う。
13. 授業で体育を履修し、体育館を利用した際 夏季の授業だったにも関わらず、体育館に大きい扇風機しかなくてとても熱く熱中症になりかけたのでエアコンの設置を検討してほしいです。
14. 総合体育館内のエアコンの効かなさ、床の汚さ
(原文ママ)

<PC(教室)について(7件)>

PC 関係では以下のコメントがあった。

1. pc 教室にて、授業中、自分の PC を使って作業するとき、コンセントがなかったり、教室の隅にあたりと、充電しながら作業したいときに不便に感じます。延長コードなどで充電しやすい環境を作ってもらえるとありがたいです。
2. ラーニングコモンズや M ロッジなどの話せるスペースで学校のパソコンを設置してくれるとグループワークするときなどに役に立つと思う。特にラーニングコモンズに設置してくれると一番うれしい
3. 東松山の CALL 室?で見られる toEIC などの資料を板橋でも使用できるようにしてほしい(取り寄せ等)
4. pc 教室を使用中の空気の入替えを長時間やってほしい。若しくは小窓などをセットして空気の循環を良くしてほしい。
5. 学生として一番不便なのは教室では、pc の充電する場所がないことだと思う。よく使われてる授業、教室にも関わらず、レストランと pc 教室しかなくて、不便だ、pc 教室は開閉時間があって、たまに休みの日もある、そして、わざわざ 6 号館にいかないと充電できない、レストランもそうだ、人がいっぱい、座るところもないから、充電することも同然できない。
6. PC 教室。常設 PC のスペックの低さ、扱いづらさ。特に席と画面の距離が近すぎて目が痛くなる。
7. PC 教室に水分補給をできるスペースが欲しい
(原文ママ)

<M ロッジについて(7件)>

M ロッジについては以下のコメントがあった。

1. M ロッジの座席を元に戻し、自習ができるようにしてほしい。
2. M ロッジの電球交代
3. ラーニングコモンズや M ロッジなどの話せるスペースで学校のパソコンを設置してくれるとグループワークするときなどに役に立つと思う。特にラーニングコモンズに設置してくれると一番うれしい
4. 実習期間中でも M ロッジを使えるようにしてほしい。
5. M ロッジを生徒にも使えるようにするか、久喜便を増やして欲しい。遠方から来ている学生が連日で通ったり移動時間が長すぎたりするのがつらい。
6. M ロッジはもう少し値下げしてほしい。

7. M ロッジの学生個人利用解禁、
(原文ママ)

<その他(30件)>

その他に、空調設備に不満がある、施設間の移動がしづらい、自習スペースを増やしてほしい、などの様々な声があった。

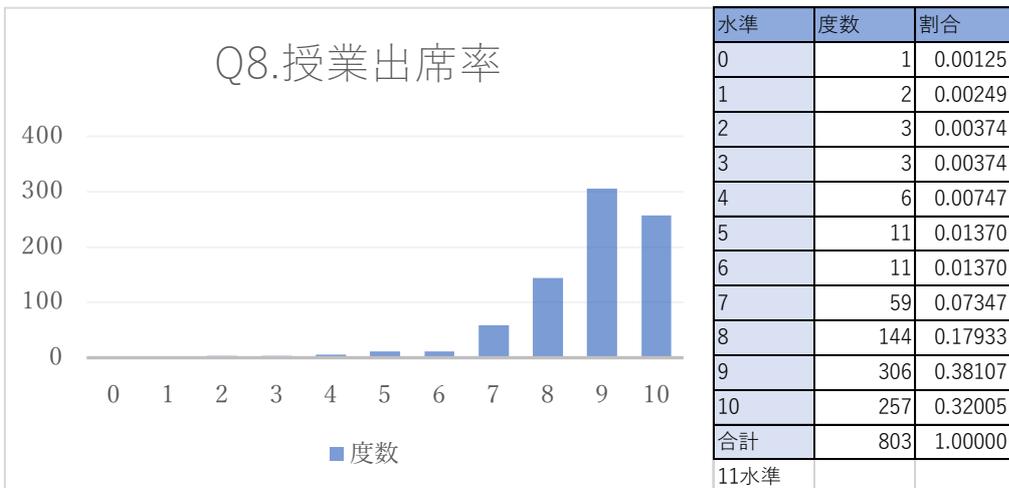
6. 学修状況

このセクションでは、Q8（授業の出席状況）と、Q9（出席状況が悪い理由）、Q10（平均的な学習時間）に関する部分について結果を報告する。

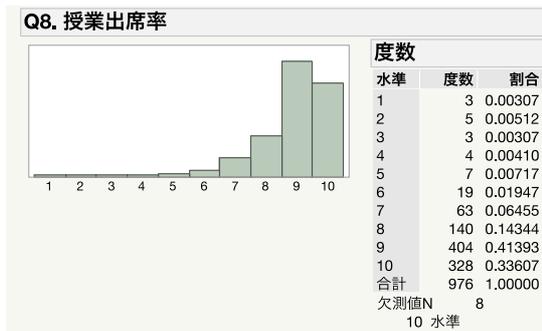
【日常の学修状況】

Q8 授業への平均的な出席状況はどの程度ですか。0(0%出席)～10(100%出席)の11段階で選んでください。

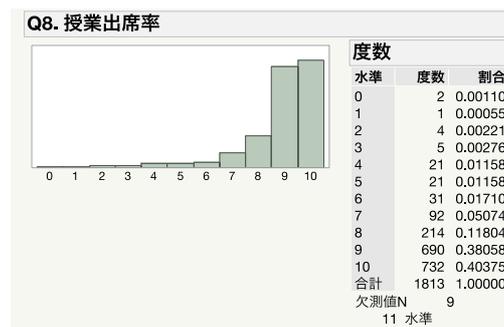
<全学>



参考：2022 年度



参考：2021 年度



全学の回答分布の最頻値は9である。9と10で約70%を占めている。2021年度は最頻値が10で、9と10で約78%を占めていた。また、2022年度は最頻値が9で、9と10で約75%を占めていた。すなわち2年連続で出席率が下がっているといえる。

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	346	8.80	1.30
2	192	8.82	1.12
3	141	8.91	1.47
4	124	8.52	1.67

参考：2022 年度

学年	人数	平均	標準偏差
1	391	8.66	1.51
2	247	9.10	1.02
3	177	9.08	0.97
4	160	8.81	1.34

参考：2021 年度

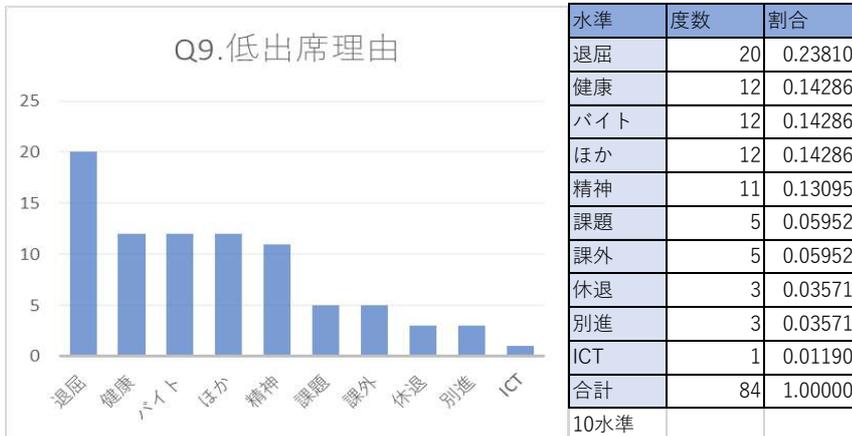
学年	人数	平均	標準偏差
1	670	8.93	1.42
2	519	9.13	1.13
3	396	8.94	1.37
4	228	8.88	1.11
全体	1813	8.98	1.30

学年別では4年生が8.52と最も低い。

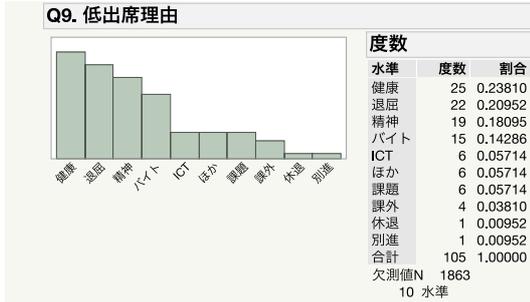
Q9 Q8で0~4を選んだ方は、その理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①アルバイトに時間を費やしていた [バイト]
- ②課外活動(部活・サークル活動等)に時間を費やしていた [課外]
- ③授業がつまらなかった・やる気にならなかった [退屈]
- ④パソコン・インターネット環境が整わなかった [ICT]
- ⑤課題が多く、すべての授業に対応できなかった [課題]
- ⑥休学・退学を考えている [休退]
- ⑦精神的な悩み [精神]
- ⑧健康上の理由 [健康]
- ⑨別の進路を考えている [別進]
- ⑩その他 [ほか]

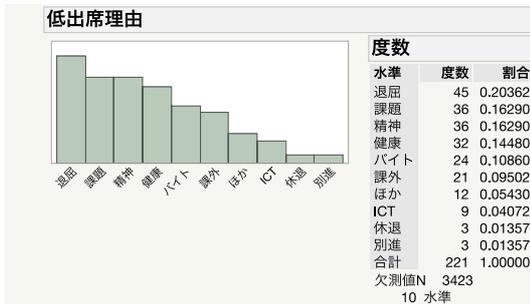
<全学>



参考：2022 年度



参考: 2021 年度



最も頻度が高いのは「退屈」で、次に「健康」と「バイト」が続いている。2022 年度に最も多かった「健康」の割合が、今年度かなり減った。上の表で「割合」とあるのは、すべての理由を 1.00 としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は 60 人なので、回答した人数に対する割合は、以下のようなになる。回答者の約 33%が「退屈」を、20%が「健康」と「バイト」をあげた。2021 年度以降、出席率が悪かったと回答した学生のうち 30%の学生が「退屈」をあげているといえる。教員の側からコントロールの難しい「健康」「精神」と異なり、「退屈」についてはその解消に教員が関わることのできる部分があるのではないだろうか。

退屈	健康	バイト	ほか	精神	課題	課外	休退	別進	ICT
20	12	12	12	11	5	5	3	3	1
33.3%	20.0%	20.0%	20.0%	18.3%	8.3%	8.3%	5.0%	5.0%	1.7%

参考：2022 年度

健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
25	22	19	15	6	6	6	4	1	1
35.2%	31.0%	26.8%	21.1%	8.5%	8.5%	8.5%	5.6%	1.4%	1.4%

参考: 2021 年度

退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進
45	36	36	32	24	21	12	9	3	3
30.6%	24.5%	24.5%	21.8%	16.3%	14.3%	8.2%	6.1%	2.0%	2.0%

次に学年と理由のクロス集計を、度数と学年内パーセンテージで表示する。

<学年別> (度数)

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	9	10	3	4	1	6	0	3	1	1	38
2	1	3	1	3	0	4	2	1	1	0	16
3	1	5	2	2	0	1	1	1	1	2	16
4	1	2	5	3	0	1	2	0	0	0	14
合計	12	20	11	12	1	12	5	5	3	3	84

参考: 2022 年度

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	15	12	13	8	5	5	3	0	1	1	63
2	4	4	2	3	0	1	1	2	0	0	17
3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	9
4	3	3	3	3	0	0	2	2	0	0	16
合計	25	22	19	15	6	6	6	4	1	1	105

参考: 2021 年度

学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計
1	17	18	18	16	6	9	4	3	2	3	96
2	8	8	5	4	4	4	4	1	1	0	39
3	12	8	12	9	9	4	4	2	0	0	60
4	8	2	1	3	5	4	0	3	0	0	26
合計	45	36	36	32	24	21	12	9	3	3	221

<学年別> (学年内パーセンテージ)

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
1	23.7%	26.3%	7.9%	10.5%	2.6%	15.8%	0.0%	7.9%	2.6%	2.6%
2	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%
3	6.3%	31.3%	12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%
4	7.1%	14.3%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

参考：2022 年度

学年 By Q9. 低出席理由											
学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	
1	23.8	19.1	20.6	12.7	7.9	7.9	4.8	0.0	1.6	1.6	
2	23.5	23.5	11.8	17.7	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	
3	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4	18.8	18.8	18.8	18.8	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	

参考: 2021 年度

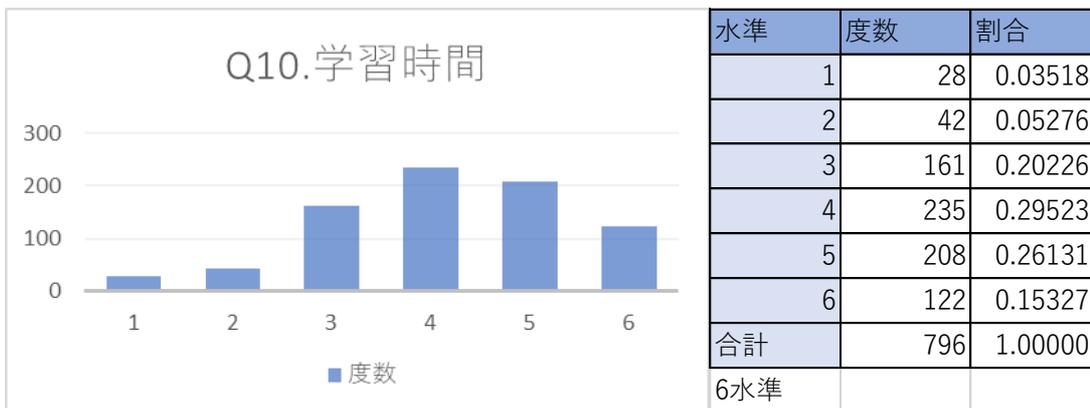
学年 By 低出席理由											
学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計
1	17.7	18.8	18.8	16.7	6.3	9.4	4.2	3.1	2.1	3.1	
2	20.5	20.5	12.8	10.3	10.3	10.3	10.3	2.6	2.6	0.0	
3	20.0	13.3	20.0	15.0	15.0	6.7	6.7	3.3	0.0	0.0	
4	30.8	7.7	3.9	11.5	19.2	15.4	0.0	11.5	0.0	0.0	

度数に関して、1年生が38と突出しているが回答した母数もまた1年生が最も多いことの反映ともいえる。また、対面授業が再開したため「ICT」（パソコン・インターネット環境が整わなかった）の割合が2021年度から2年連続で減少している。「休退」（休学・退学を考えている）、「別進」（別の進路を考えている）と回答した4年生は、2021年度から3年連続でいなかった。

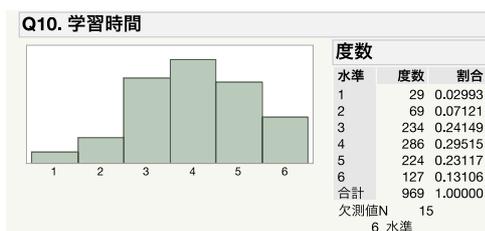
Q10 授業のための予習・復習・課題、資格取得のための準備等を合わせて、一日平均どのくらい学習しますか。

- ① 4時間以上 ② 3時間程度 ③ 2時間程度 ④ 1時間程度 ⑤ 1時間未満 ⑥ ほぼしない

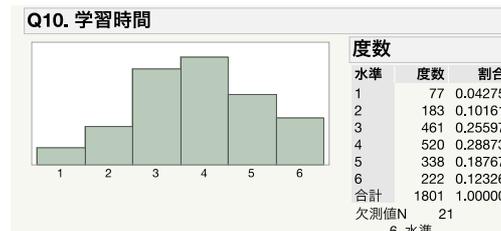
<全学>



参考：2022 年度



参考：2021 年度



最頻値は4（1時間程度）で、約30%を占める。2021年度、2022年度とほぼ同様の結果である。大学生の学習時間としては少ないと言わざるを得ない。6（ほぼしない）は2021年度の約12%から2年連続で増加し、約15%だった。次に学年別の分布を示す。

<学年別>

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.3%	4.4%	21.3%	27.4%	30.0%	14.6%
2	1.6%	4.7%	20.9%	29.3%	24.1%	19.4%
3	8.2%	3.7%	20.1%	33.6%	22.4%	11.9%
4	4.1%	9.8%	16.4%	32.0%	23.0%	14.8%

参考：2022年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	1.8%	4.9%	20.9%	28.4%	28.7%	15.2%
2	2.0%	8.9%	28.5%	35.8%	15.4%	9.3%
3	6.8%	10.2%	25.6%	27.3%	18.8%	11.4%
4	3.1%	6.3%	23.9%	25.2%	25.8%	15.7%

参考：2021年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.9	8.1	26.8	30.9	18.6	12.7
2	5.4	14.3	29.6	26.1	16.4	8.1
3	5.3	10.7	22.4	27.5	19.3	14.8
4	4.0	5.8	18.3	31.7	23.7	16.5

学年別には1（4時間以上）の割合が最も高いのは昨年度と同様3年生である。1と2の合計（すなわち3時間以上学習している）による学年の順序は2年<1年<3年<4年、1と2と3の合計（すなわち2時間以上学習している）による学年の順序は2年<1年<4年<3年であった。したがって、1年生、2年生の学習時間より、3年生、4年生の学習時間が長いといえる。